



6月は、自分も相手も大切にする「ふれあい月間」でした。八小では、うれしい姿がたくさん見られました。登校中、家の人に会いたくなって泣き出し、動けなくなった1年生がいました。たまたま通りかかった2年生が励まし励まし、ようやく正門までたどり着きました。すると、今度は2年生の目から涙があふれてきました。「先生と遅刻をしない、と約束した」とのこと。その2年生は、早歩きすべきかずっと迷いながらも、最後まで1年生を励まし続けたのです。もちろん事情を知った担任から、たくさんほめられました。

バス停で、急に雨が降り出して困っている年配の方がいました。それに気づいた中学年の子が、折りたたみの傘を開き、そうっと、だまって、背伸びをしながらさしました。年配の方が「あなたが濡れてしまうよ。」と言いましたが、その子はバスが来るまでピタリと寄り添い続けたそうです。自分で決めたことを、最後までやり通したのです。後日、学校に「涙が出るくらいうれしくて、長生きしそうです。」とお礼の手紙が届きました。

移動教室で大きく成長した6年生は、最近学校中でいろいろと調べています。何をしているのだろうか？と思っていると、3人の6年生が手作りの目安箱を校長室に持ってきました。「八小をもっとよくするために設置したい。」とのこと。別の6年生は（5年生も一人いました）「コロナで黙食が続いているので、楽しい放送で八小を楽しみたい。」と新しい企画書を校長室に持ってきました。さらによく見ていくと、6年生は、廊下、休み時間、ことば遣い、異学年交流、友達関係、怪我、人と自然、安全など、様々なことに目を向け、同じテーマの人3人から6人で小グループをつくり、自分たちで行動を起こしていることが分かりました。合言葉は「自分たちにできること」です。「自分たちの学校は自分たちでつくっていくのだ！」という強い意志を感じました。

発達年齢に応じて、自分も、相手も、そして学校全体も大切にする姿がたくさん見られ、うれしいです。そのうれしい姿が広がっていき、全員が笑顔になれる八小を目指します。

7月の生活目標

「物を大切にしよう」

私は小学生時代、書道を習っていました。思うように進級できずに悩んでいた時、習字道具を丁寧に手入れすることから始めてみました。すると、道具を粗末に扱っていた時とは打って変わって、どんどん進級できるようになりました。道具を大切に使うことで、道具への愛着や感謝の気持ちが芽生え、自然と書へ向き合う姿勢が変わったことを、今でもよく覚えています。

今月の生活目標は、「物を大切にしよう」です。最近、安価な商品や使い捨ての物が増え、何でもすぐに買い替えることができるようになりました。だからと言って、物を粗末に扱っていいわけではありません。「物を大切にしよう」ということは、「作ってくれた人や買ってくれた人へ感謝をする」ということです。また、自分の持ち物への心遣いは、自分でも無意識のうちに、公共の物に対しても、周りの人に対しても、現れてくることでしょう。「物を大切にしようの心」を育てていきます。

生活指導主任 小枝 真一

【個人面談に関わるお知らせ】

- ・面談期間中は、工事のため北校舎・南校舎が期間をずらして断水しています。お手洗い等は断水していない校舎をお使いください。 北校舎の工事期間…7月21日～29日 南校舎の工事期間…7月30日～8月19日
- ・工事に伴う騒音も予想されます。ご了承ください。